

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年10月3日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	寝屋川市	代表者名	広瀬 慶輔
担当者部署	経営企画部情報化推進課	連絡先電話番号	072-825-2114
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	業務とICTとの関連が分かりやすく、原課にとっても業務につながるものがあったのではないかと思います。また、ICTの活用によって各所管事業に係る課題解決を図る物事の捉え方や考え方を涵養するための機運の醸成が図られました。さらには、午前で得た知識を午後のグループワークで議論することによって、本市における問題について考える機会を得ることができたというところで「よい」という評価とさせていただきます。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年9月25日	10時00分	17時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	寝屋川市役所本庁舎		最寄駅	京阪電車寝屋川市駅
	所在地	大阪府寝屋川市本町1番1号			
	最寄駅からの交通手段	公用車でお迎えに上がります。			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可
------	------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	210人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	昨年度の取組において、経営層に向けた働きかけを行い、政策立案に係るICTの利活用に関して機運醸成を図ったところですが、全庁的に職員一人ひとりの意識改革を通じて裾野を広げ、市全体として取組む体制づくり及び人材育成が急務となっています。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	2018年度から2022年度までを「情報化ビジョン」の計画期間としていることを踏まえ、2022年度までに、各所属においてICTを活用し付加価値のある取組みが実施されていることを最終目標とします。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	研修を通じて、ICTを活用するための手段(主に業務分析や業務見直し)について、業務を踏まえてどのように取組めばよいかという観点で講義形式、またはワークショップ形式で研修を実施いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	ICTに係る基本的な知識はもとより、業務との関係においてICTをいかに活用できるのかという観点で物事を捉え考えることができるような機運が醸成されました。また本研修を通じて、職員ひとり一人の意識付けを行うことができました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	新たな価値創造や課題解決につながる物事の捉え方や考え方を涵養するための機運の醸成が図られました。また、アドバイザーの支援を通して職員ひとり一人に対する意識付けを行うことができました。今後もアドバイザーを活用させていただくことで、政策立案に係るICTの利活用に関する機運醸成を図り、裾野を広げる取り組みを続けていきたいと思っております。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート内容としては、「『マイナンバーカード』活用に向けての社会の動きの意味が分かった」「業務に繋がる研修になりました」「他課の人との情報交換は新しい発想にもつながりよかったです」等の回答があり、大変意義深い研修となりました。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年10月3日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	寝屋川市	代表者名	広瀬 慶輔
担当者部署	経営企画部情報化推進課	連絡先電話番号	072-825-2114
担当者役職	一般職員	担当者氏名	園田泰介、梶尾陽子
住所	572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	業務とICTとの関連が分かりやすく、原課にとっても業務につながるものがあったのではないかと思います。また、ICTの利活用によって各所管事業に係る課題解決を図る物事の捉え方や考え方を涵養するための機運の醸成が図られました。さらには、午前で得た知識を午後のグループワークで議論することによって、本市における問題について考える機会を得ることができたというところで「よい」という評価とさせていただきました。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年9月26日	10時00分	17時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	同上		最寄駅	京阪電車寝屋川市駅
	所在地	同上			
	最寄駅からの交通手段	同上			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	210人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	昨年度の取組において、経営層に向けた働きかけを行い、政策立案に係るICTの利活用に関して機運醸成を図ったところですが、全庁的に職員一人ひとりの意識改革を通じて裾野を広げ、市全体として取組む体制づくり及び人材育成が急務となっています。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	2018年度から2022年度までを「情報化ビジョン」の計画期間としていることを踏まえ、2022年度までに、各所属においてICTを活用し付加価値のある取組みが実施されていることを最終目標とします。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	研修を通じて、ICTを利活用するための手段(主に業務分析や業務見直し)について、業務を踏まえてどのように取組めばよいかという観点で講義形式、またはワークショップ形式で研修を実施いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	ICTに係る基本的な知識はもとより、業務との関係においてICTをいかに活用できるのかという観点で物事を捉え考えることができるような機運が醸成されました。また本研修を通して、職員ひとり一人の意識付けを行うことができました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	新たな価値創造や課題解決につながる物事の捉え方や考え方を涵養するための機運の醸成が図られました。また、アドバイザーの支援を通して職員ひとり一人に対する意識付けを行うことができました。今後もアドバイザーを活用させていただくことで、政策立案に係るICTの利活用に関する機運醸成を図り、裾野を広げる取り組みを続けていきたいと思っております。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート内容としては、「『マイナンバーカード』活用に向けての社会の動きの意味が分かった」「業務に繋がる研修になりました」「他課の人との情報交換は新しい発想にもつながりよかったです」等の回答があり、大変意義深い研修となりました。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年10月3日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	寝屋川市	代表者名	広瀬 慶輔
担当者部署	経営企画部情報化推進課	連絡先電話番号	072-825-2114
担当者役職	一般職員	担当者氏名	園田泰介、梶尾陽子
住所	572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	業務とICTとの関連が分かりやすく、原課にとっても業務につながるものがあったのではないかと思います。また、ICTの利活用によって各所管事業に係る課題解決を図る物事の捉え方や考え方を涵養するための機運の醸成が図られました。さらには、午前で得た知識を午後のグループワークで議論することによって、本市における問題について考える機会を得ることができたというところで「よい」という評価とさせていただきました。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年9月27日	10時00分	17時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	同上	最寄駅	京阪電車寝屋川市駅	
	所在地	同上			
	最寄駅からの交通手段	同上			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 職員	人数 210 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)</p> <p>昨年度の取組において、経営層に向けた働きかけを行い、政策立案に係るICTの利活用に関して機運醸成を図ったところですが、全庁的に職員一人ひとりの意識改革を通じて裾野を広げ、市全体として取組む体制づくり及び人材育成が急務となっています。</p> <p>支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)</p> <p>2018年度から2022年度までを「情報化ビジョン」の計画期間としていることを踏まえ、2022年度までに、各所属においてICTを活用し付加価値のある取組みが実施されていることを最終目標とします。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)</p> <p>研修を通じて、ICTを利活用するための手段 (主に業務分析や業務見直し) について、業務を踏まえてどのように取組めばよいかという観点で講義形式、またはワークショップ形式で研修を実施いただきました。</p> <p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p> <p>ICTに係る基本的な知識はもとより、業務との関係においてICTをいかに活用できるのかという観点で物事を捉え考えることができるような機運が醸成されました。また本研修を通して、職員ひとり一人の意識付けを行うことができました。</p> <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入下さい)</p> <p>新たな価値創造や課題解決につながる物事の捉え方や考え方を涵養するための機運の醸成が図られました。また、アドバイザーの支援を通して職員ひとり一人に対する意識付けを行うことができました。今後もアドバイザーを活用させていただくことで、政策立案に係るICTの利活用に関する機運醸成を図り、裾野を広げる取り組みを続けていきたいと思っております。</p> <p>アンケートの内容と分析結果</p> <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アンケート内容としては、「『マイナンバーカード』活用に向けての社会の動きの意味が分かった」「業務に繋がる研修になりました」「他課の人との情報交換は新しい発想にもつながりよかったです」等の回答があり、大変意義深い研修となりました。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

